

# 平成14年度「川に学ぶ体験活動協議会」の活動および「川づくり、まちづくり講習会」について

研究第一部 次 長 井山 聡  
主任研究員 北川 晴彦

## 【平成14年度「川に学ぶ体験活動協議会」の活動】

平成12年9月6日に、全国各地の川で活動するNPO法人や市民団体等で組織された、「川に学ぶ体験活動協議会」(略称RAC)の活動も、今年度で3年目となりました。会員団体も90を超え、川に学ぶ社会の実現に向け、「川の指導者育成」を柱に活動を行っています。

平成14年6月1日には、平成14年度定期総会が開催され、そこで平成14年度の事業計画が決められました。

今年度の活動方針として、川の指導者育成を中心に活動を集約するため、以下のような方針が出されました。

- 講座の質的向上に向けて講座の審査・認定の実施及び「川の指導者」の社会的貢献の場の拡大を図るため河川法等関連法令などをカリキュラムに追加する。
- 「川の指導者育成」の日常化を目指し、川の指導者育成拠点となる団体の発掘及び支援を行い「川の指導者」の日常化を確立する。
- 「川の指導者」の社会貢献の場を作り出すために、関係機関に「川の指導者」の情報提供を行うとともに、積極的な活用を働きかける。
- 「川の指導者」の社会貢献の場として、国土交通省が進める「水辺の楽校プロジェクト」及び『「子どもの水辺」再発見プロジェクト』の活性化に向け関係機関との連携・協力を進める。
- 活動を進めるために専門部会等を設置し、主体的な活動を確立する。
- その他、本協議会に関連する活動について、支援等の要請があったものについては可能な範囲で支援を行う。

これらの方針を受け、活動内容のより一層の拡充が図られています。平成14年度の主な活動としては、次の通りです。

### (1) 川に学ぶ体験活動普及事業

川に学ぶ体験活動をより広く全国に普及していくため、パンフレット等の作成・配布や、インターネットによる情報提供システムを運用していく。

### (2) 川に学ぶ体験活動指導者の育成活用事業

「基礎講座」を継続して実施していくとともに、「川の指導者養成講座」については、「初級講座」の他、「中

級講座」を開催し、より高度な能力を持つ指導者の育成を図るとともに、フォーラムを開催し指導者育成の中核となる団体の育成を図っていく。

### (3) 子どもの安全講座

子どもが安全に川で活動するための知識や能力を養うための講座を実施する。

### (4) 川に学ぶ体験活動調査研究事業

水辺の楽校活性化プロジェクト等の調査研究を進める。

具体的な活動内容や、今後の講座開催予定については、川に学ぶ体験活動協議会のホームページ(<http://www.rac.gr.jp>)にて紹介されていますので、是非ご覧下さい。

## 【「川づくり、まちづくり講習会」について】

「川づくり、まちづくり講習会」は、河川管理の現場において、地域と連携した川づくりについて一層の普及・啓発を図るため、「川に学ぶ体験活動協議会」の支援事業として、各地の川で活動する団体を中心とした実行委員会により、平成13年6月～平成14年5月の間に全国各地11ヶ所で開催され、807名の方々が受講されました。

講習会は平成13年度河川整備基金の助成を受け、主に河川管理者や行政担当者を対象に、多自然型川づくりや河川を活かしたまちづくりについての講義をはじめ、各地の特色を反映したカリキュラムで開催されました。

民間主導によるこのような講習会は、行政担当者にとっても初めての経験であり、当初はとまどいの声もありましたが、アンケート結果からは、今後も開催すべきとの意見が大半を占めました。また、民間が開催することにより、民間と行政、さらには行政間(国、都道府県、市町村)同士の交流の機会にもなったとの意見もありました。講習会については、各地の新聞でも取り上げられ、地域における活動のさらなる展開や、市民団体と行政との連携促進の機会にもなりました。

今後も、様々な形で、地域住民や市民団体と行政との連携を推進していくための取り組みが各地に広がっていくことを期待しています。